（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ピース久宝寺店

公表日　2025年　6月　10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		学習を行っている児童と自由時間を過ごしている児童が重なった場合、環境に応じた過ごし方が行えるよう、声掛けを行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		段差のある洗面所は幼児が使用する際はスタッフが付き添って安全配慮しております。また施設内での怪我防止の為、施設内で走らない様声掛けの徹底を行っています。	児童同士の接触で怪我人が出ない様、引き続きスタッフが児童に対しての声掛けを心掛けます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		次亜塩素酸噴霧器を各部屋に設置し、食事の前後にはテーブルを消毒するなど、衛生面に配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	4		学習の際やカームダウンの際など、児童の様子や状況に応じて、個別でも対応できるように相談室を使えるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		朝礼時にスタッフ間で話し合い共有しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎年、保護者様からの事業所評価を行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		面談後は朝礼などでスタッフ間で共有しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		まだ行えていないので、グループ法人全体で話し合っていきたいと考えております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的に様々な研修（内外部共に）を受けております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	4		支援プログラムだけでなく、毎月の活動予定表をHPとインスタグラムに毎月掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		面談だけでなく、日々電話などで保護者に報告したり相談応対しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		保護者との面談後は社員間で話し合いを行い、支援内容を検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			療育担当スタッフだけでなく、送迎スタッフにも共有していく方法を検討しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		市から提供されているアセスメント表を使用し、面談時にヒヤリングを行っております。	ご利用児様の障害特性によっては今後書式の再検討が必要な場合は随時話し合いで検討していこうと思います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		令和６年の法改正に伴い、ガイドラインを再確認し、５領域に絡めた総合的な支援/療育提供が行えるよう児発管だけでなく社員全員で日々の活動と５領域の関係を話し合い、それを踏まえて各々の活動を立案していっています。	話し合った内容を新入職員にもしっかり伝えていこうと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		個々での立案後、スタッフ間で意見を出し合っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		ひと月のうち、どの週のどの曜日にご利用していただいても偏りの無いプログラムになるよう毎月考慮して作成しております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		個々の机上課題と集団活動で両方組み合わせることができております。	集団活動も内容によっては時間をずらして個別で行うなど、臨機応変にしていけたらと思っております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		翌日の朝礼で前日の振り返りや当日の活動内容についてリマインドする等話し合っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		面談や日々の連絡を踏まえ、お子様各々のスピードでスモールステップで無理なく成長できるように、を念頭において見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		基本的には児発管が参加しており、児発管の知識に偏りが無い様、社員間と事前に情報共有しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		役所関連機関、児相、病院、学校等と児童の情報共有をするなど、連携体制を整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		各学校とは比較的連絡/情報共有はできていますが、園や他事業所様との連携/相互理解には改善の予知があると考えます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		相談支援員が付いておられるご利用児様は比較的共有できておりますが、セルフプランのご利用児様は今後努力させていただこうと思っております。	セルフプランのご家族様が多いので、ご家族様と協力することで園と学校の切れ目の無い支援が出来ればと考えます。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		4		まずは関係づくりから始めさせていただき、研修等に参加させていただけたらと考えております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	外出活動の際、その地域のお子様たちと一緒に遊ぶことはありますが、ご利用児の地域のお子様と活動する機会はあまり行えておりません。	保護者様とご相談させていただいた上で、イベント等を企画していきたいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の送迎時や連絡帳だけでなく電話でも報告しております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	保護者会では講義の時間を設けており、そこでの内容が少しでも保護者様にとって何らかのお役に立っていればと願います。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に重要事項説明書をご覧いただきながら必ず説明させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	4		モニタリングの際、ご希望される療育や支援内容をヒヤリングしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		面談の形で行い、ご説明させていただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談だけでなく、日々電話やラインなどでヒヤリング/応対しております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	保護者会時に保護者様同志話し合える時間ができればと、茶話会を行っています。	兄弟同志での交流の場はコロナが始まって以来難しさを感じておりますが、ご家族様のご理解ご協力を得ながら考えていけたらと思っております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		送迎時やお電話など、いろんな形でお話を伺う体制を整えております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ブログとインスタグラムをほぼ毎日更新しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		送迎車の外装配慮やSNSでのモザイク、外出時のスタッフの服装など、配慮いたしております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		電話、ライン、連絡帳などのツールの配慮や、連絡時間など配慮させていただいております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		保護者様とご相談させていただいた上で、イベント等を企画していきたいと考えております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		訓練等は毎年行っております。	職員のみの訓練等もSNSでお伝えしていければと思っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		市の規定の沿って行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		バイトスタッフにも対応してもらえる様に、てんかん発作の児童対応方法を保護者様に確認をし適切な対応を行なえる環境となっています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	医師の指示書ではありませんが、保護者様からお話があった際にはスタッフに周知しておやつやクッキング活動等の提供をさせていただいております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画の作成・研修や訓練の実施は行っております。	概ね安全だが、ふとした時に危険が生じる時があるので配慮していこうと思います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4		契約時にお話させていただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		前日のヒヤリハットを朝礼で確認後、書面を作成すると共にスタッフ間で共有し、対策等を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		委員会の設置、市が行う研修への参加、スタッフへの伝達研修等、毎年行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		まだ該当児童がおりませんので、具体的な前例はございませんが、「もし・・・」の話はスタッフ間で研修時に話し合っております。	